

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 27 年 8 月 13 日 (2015.8.13)

【公表番号】特表 2014-521532(P2014-521532A)

【公表日】平成 26 年 8 月 28 日 (2014.8.28)

【年通号数】公開・登録公報 2014-046

【出願番号】特願 2014-522210(P2014-522210)

【国際特許分類】

B 2 7 K 3/34 (2006.01)

B 2 7 K 3/36 (2006.01)

【F I】

B 2 7 K 3/34 A

B 2 7 K 3/36

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 26 日 (2015.6.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有効期限付きの木製梱包材の防腐処理法は以下の諸段階、即ち：
 木製梱包材の表面を洗浄剤または紙やすりで洗浄し滑らかにすること；
 高温で木製梱包材の湿気を除去すること；
 木製梱包材を設計・所望の形に製造すること；
 特定の含有量の防腐剤溶液の入った水槽に木材を浸漬させ、防腐処理を施すこと；
 防腐剤の入った水槽の防腐剤溶液を排出し、浸してある木材を乾かすこと；及び
 船積み / 配送前に、木製梱包材に安全標識のラベルを貼付すること
 を踏んで行われる、防腐処理法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の有効期限付きの木製梱包材の防腐処理法において、熱処理設備の室温は摂氏 650 度から 750 度であり、木材乾燥室の温度は継続的に摂氏 65 度から 120 度である防腐処理法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の有効期限付きの木製梱包材の防腐処理法における乾燥期間は三日間から七日間、継続的に行われる防腐処理法。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の有効期限付きの木製梱包材の防腐処理法において、防腐液を噴霧、染め、ブラッシング、浸水、真空圧、加圧含浸の方法で木材に注入し、防腐処理を施す防腐処理法。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の有効期限付きの木製梱包材の防腐処理法において、木製梱包材を数秒にわたり防腐液の入った水槽に浸漬させる防腐処理法。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の有効期限付きの木製梱包材の防腐処理法において、防腐処理の対象となるのはパレットの形をした木製梱包材であり得る防腐処理法。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の有効期限付きの木製梱包材の防腐処理法であって、木製梱包材がパレットの形をした場合、その左側にシリーズ番号を示す数字 (a) が表示されている防腐処理法。

【請求項 8】

請求項 6 に記載の有効期限付きの木製梱包材の防腐処理法であって、パレットの真中に安全表示のラベル (b) が付けられ、会社の所在地及びパレットに関する重要なデータが表示されている防腐処理法。

【請求項 9】

請求項 6 に記載の有効期限付きの木製梱包材の防腐処理法であって、パレットの右側に製造年及び月の記入欄 (c) を有する防腐処理法。

【請求項 10】

請求項 6 に記載の有効期限付きの木製梱包材の防腐処理法であって、上方に防腐処理年及び月が表示され、防腐処理の日付及び防腐処理有効期限の日付の記入欄 (d) がある防腐処理法。

【請求項 11】

請求項 6 に記載の有効期限付きの木製梱包材の防腐処理法であって、ＩＤ（国コード）、００５（ネームコード）、ＨＴ（熱処理）、ＤＢ（樹皮除去（木の皮から除去された樹皮））を含む標識（ e ）がパレットにある、防腐処理法。

【請求項 12】

請求項 6 に記載の有効期限付きの木製梱包材の防腐処理法であって、前記木製梱包材が臭化メチルを含まないことを示す標識（ f ）がパレットにある、防腐処理法。

【請求項 13】

請求項 6 に記載の有効期限付きの木製梱包材の防腐処理法であって、前記木製梱包材が半永久の防腐処理が施されていること知らせる文字（ g ）がパレットにある、防腐処理法